

土砂災害から「命」を守るために！

土砂災害警戒情報とは？

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険が高まったときに、気象庁と東京都から共同で発表されます。区はこの情報を防災活動や避難勧告等の判断に活用します。

また、住民の皆さんの自主避難の判断に、活用していただく情報です。

早目の避難を！

台風の接近や大雨により、土砂災害が発生するおそれがある時には、自ら積極的に気象情報を収集するとともに、周囲の状況把握に努めましょう。

「自らの命は自ら守る」という意識をもち、避難勧告等が発令された場合はもちろん、発令される前であっても行政等が出す情報に十分に留意し、災害が発生する前に自らの判断で早目の避難行動をとりましょう。

土砂災害について

土砂災害の種類

土砂災害の種類には、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりの3つの現象があります。ほとんどの土砂災害は、台風や大雨、長時間の雨、地震によって発生します。

大雨や長時間の雨の場合、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多くなることで斜面の土の抵抗力が弱くなり（地盤が緩む）、災害の発生するおそれが高くなります。

なお、目黒区内で発生するおそれのある土砂災害は、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）です。

土砂災害防止法とは

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）」は、土砂災害から国民の命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備を図るとともに、著しい土砂災害が発生するおそれがある区域について住宅等の新規立地の抑制等のソフト対策を推進しようとするものです。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象

前兆現象

- ・がけに割れ目が見える。
- ・がけから水がわき出ている。
- ・がけから小石がぼらぼらと落ちてくる。



こんな現象を見たら、
早めに避難しましょう！

土砂災害警戒区域等は本マップのほか、東京都建設局ホームページ（<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/dosha/saigai/kasenbu0015.html>）でも確認できます。また、以下の施設ではより詳細な図面が閲覧できます。

- 東京都建設局河川部計画課（都庁第二本庁舎）
- 目黒区都市整備部建築課（目黒区総合庁舎6階）
- 目黒区危機管理室防災課（目黒区防災センター内）

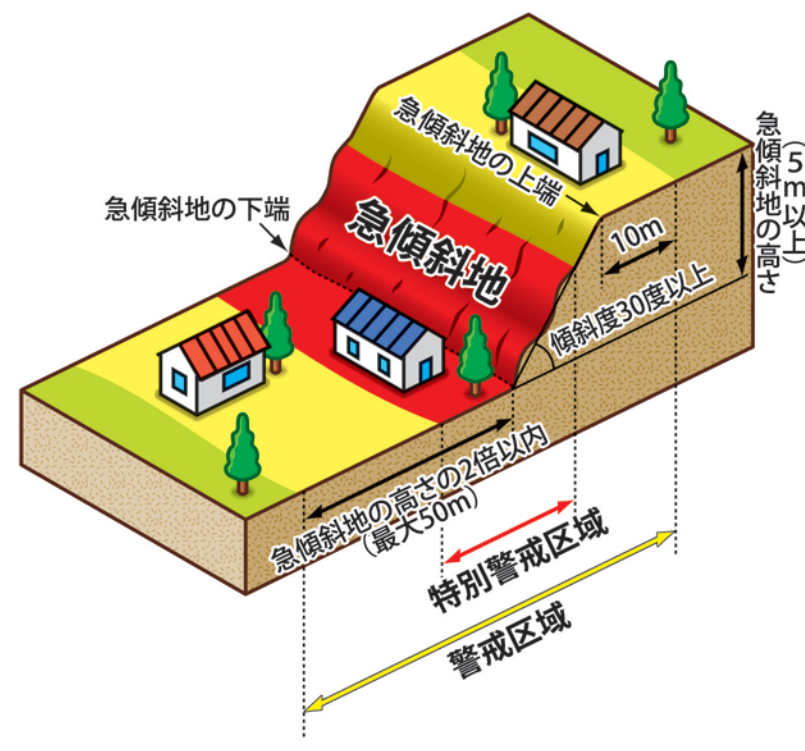
土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域

指定基準

- 傾斜度が30度以上で高さ5m以上の区域
- 急傾斜地の上部から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下部から急傾斜地の高さの2倍以内（50mを超える場合は50m）の区域



土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

指定基準

土砂災害警戒区域のうち、「急傾斜地の崩壊に伴う土石等の移動等により建築物に加わる力」の大きさが、「通常の建築物が、土石等の移動により住民の生命または身体に著しい危害を及ぼすおそれのある損壊を生ずることなく耐えることができる力」の大きさを上回る区域

土砂災害特別警戒区域内での助成制度
区域内の既存の不適合建築物について、改修・移転費用の助成制度があります。
〈問い合わせ先〉
目黒区都市整備部建築課耐震化促進係
電話 03-5722-9490

特別警戒区域では以下の規定も設けられています

- 特定の開発行為に対する許可制
住宅地分譲や要配慮者関連施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。
- 建築物の構造の規制
居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して、建築物の構造が安全であるかどうかの建築確認の制度および構造規制が適用されます。
- 建築物の移転等の勧告
土砂災害発生時に損壊が生じ、住民等に著しい危害が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、安全な区域への移転等の勧告がされる場合があります。
- 宅地建物取引における措置
宅地建物取引業者は当該宅地または建物の売買等にあたり、特定の開発行為の許可について重要事項説明を行わなければならない。

避難行動について

命を守るためにとる以下の行動を避難行動としています。
降雨の状況、また夜間など外に出ることが危険な場合もあります。状況に応じた避難行動をとります。

- 最寄の避難所への「立退き避難」
- 近隣のより安全な場所、建物等への「立退き避難」
- 「屋内安全確保」（その時点で居る建物内において、より安全な部屋への移動。）



気象情報

気象庁が発表する注意報・警報

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を、数十年に一度の大雨などが予想される場合に「特別警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

種類	警告内容等
大雨特別警報	台風や集中豪雨等により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるとき。大雨特別警報が発表された場合、重大な災害が発生するおそれが著しく大きい状況が予想されます。直ちに命を守る行動をとって下さい。
大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあるとき。大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害）と発表されます。
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあるとき。
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したとき。現在の降雨量がその地域にとって土砂災害や浸水害等の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であるとき。
土砂災害警戒情報	大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったとき。
洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害のおそれがあるとき。
洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害のおそれがあるとき。

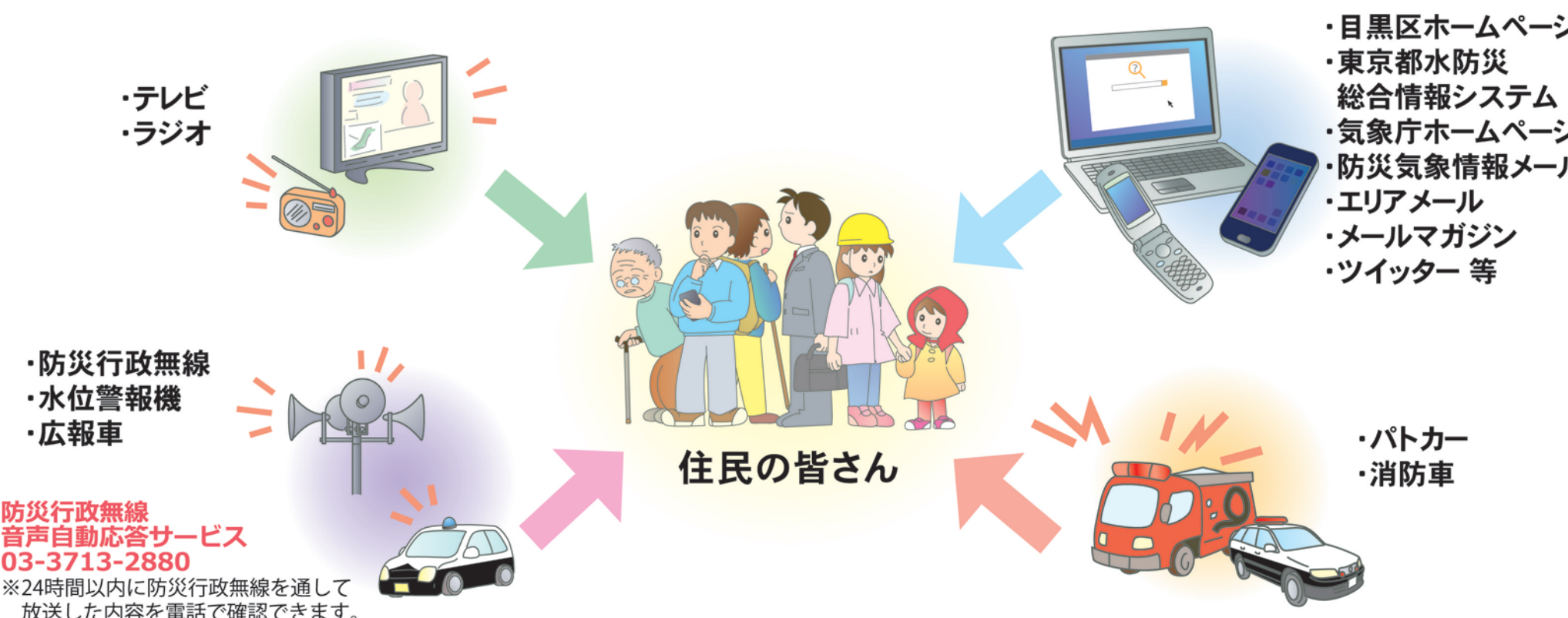
雨の強さと降り方

雨の降り方でほしい雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるように、降り方と雨量の関係を知っておきましょう。



避難情報の伝達方法

「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示（緊急）」などの情報は、下図のような方法で住民の皆さんに伝達されます。情報をどのように入手するか確認しておきましょう。



災害用伝言ダイヤル

地震や風水害などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

NTT災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

- メッセージの録音
171→1→市外局番から電話番号→メッセージの録音
- メッセージを聞く
171→2→市外局番から電話番号→メッセージの再生

NTT災害用伝言板（web171）

災害発生時にインターネットで伝言情報の登録、閲覧ができます。ホームページ <https://www.web171.jp/>

この他、携帯電話・PHS各社で災害用伝言板サービスもあります。利用方法は、各社ホームページ等でご確認ください。



非常持出品を用意しよう！

いざという時にすばやく避難できるように、非常用品を防災袋に入れて常備しましょう。避難先で困らないように、眼鏡や持病の薬など、自分には必要で、入手が簡単ではないものを用意しておくことが大切です。特に寒冷期は防寒用品を忘れずに。

非常持出品

- ◆ 非常時に持ち出すものをあらかじめ準備しておきましょう
- ◆ 重くなりすぎないよう、必要最低限のものにまとめましょう（男性:15kg、女性:10kgを目安）

- 貴重品
 - 現金（小銭も）
 - 通帳類
 - 証書類
 - 身分証明書
 - 健康保険証
 - 免許証
 - 印鑑
- 携帯ラジオ
 - 予備の電池（多めに用意する）
- 懐中電灯
 - 予備の電池
 - 予備の電球（懐中電灯は、できれば一人一つ用意）
- 救急薬品
 - ばんそうこう
 - ガーゼ
 - 包帯
 - 消毒薬
 - 解熱剤
 - 胃腸薬
 - 風邪薬
 - 鎮痛剤
 - 常備薬
 - とげぬき
- 非常食・飲料水
 - カンパンや缶詰
 - 飲料水
 - 水筒
 - 紙皿
 - コップ
 - ナイフ
 - 缶切り
- その他
 - 下着
 - 上着
 - 靴下
 - タオル
 - 雨具
 - 軍手
 - ティッシュペーパー
 - ビニール袋
 - 予備の眼鏡
 - マスク
 - 笛
 - 石けん
 - 生理用品
 - (乳幼児がいる場合: ミルク ほ乳瓶 おむつ パスタロール)
 - (要介護者のいる場合: 着替え おむつ 障害者手帳 常備薬)

非常用備用品

- ◆ 災害復旧までの数日間を自活するためのもの
- ◆ 日頃から備蓄、点検をしましょう

- 食糧
 - 缶詰やレトルト食品
 - 栄養補助食品（チョコレート、梅干し、チーズ等）
- 水
 - 飲料水（大人一人当たり1日3ℓが目安）
 - 生活用水：風呂の栓は抜かず、やかんやポットに水を入れておく（炊事、洗濯、トイレ等に使用）
- 燃料
 - 卓上コンロ
 - 予備のガスボンベ
 - 固形燃料
- その他
 - 毛布、寝袋
 - 洗面用具
 - 携帯トイレ
 - トイレレットペーパー
 - パケツ
 - ポリタンク
 - 使い捨てカイロ
 - ろうそく
 - 工具
 - ビニールシート
 - キッチンラップ
 - 新聞紙
 - ペットフード（ペットがいる場合）

情報の収集

日頃から気象情報や河川の水位情報に注意しましょう。テレビ、ラジオ、新聞やインターネットなどから様々な情報入手しましょう。また、住民の皆さんから区へも情報提供をお願いします。

目黒区 災害情報などを提供しています。

- 電話 03-3715-1111
- パソコンから <http://www.city.meguro.tokyo.jp/>
- 携帯電話から <http://www.city.meguro.tokyo.jp/mobile/>

東京都水防災総合情報システム

- 都が観測している河川の水位や降水量が見られます。
- パソコンから <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>
- 携帯電話から <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>

目黒区防災気象情報

- 区内の天気予報や雨量情報・災害情報を提供しています。
- パソコンから <http://dim2web09.wni.co.jp/megurocity/pinpoint/>
- 携帯電話から
目黒区防災気象情報メールシステム
docomo <http://dim2web09.wni.co.jp/megurocity/mobile/do/>
au <http://dim2web09.wni.co.jp/megurocity/mobile/au/>
softbank <http://dim2web09.wni.co.jp/megurocity/mobile/vf/>
- ※サイトから登録することで、防災情報、気象情報等の情報をメールでお知らせします。

国土交通省防災情報提供センター

- 降水量や雨雲の動きなどが見られます。
- パソコンから <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosajoho/>
- 携帯電話から <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosajoho/i-index.html>

国土交通省東京都国事事務所

- 防災情報、規制情報などが確認できます。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/>

メールマガジン

- 必要な分野の情報をパソコンや携帯電話・スマートフォン（多機能携帯電話）にお届けしています。
http://www.city.meguro.tokyo.jp/online/mail_magazine.html
- ① 右のコードを携帯電話で読み取って出てきたアドレスにメールを送信
- ② 返信メールに記載されたサイトにアクセス
- ③ 申し込み画面からメールマガジンを登録

気象庁天気予報電話サービス

- 気象庁発表の最新の天気予報が聞けます。
- 電話 177 携帯電話 03177
- 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/>

東京電力 雨量・雷観測情報

- 雨量・雷観測情報などが見られます。
<http://thunder.tepco.co.jp/>

鉄道機関

- 列車の運行状況が確認できます。
- JR東日本 <http://www.jreast.co.jp/>
- 東京メトロ <http://www.tokyo.metro.jp/>
- 東京都交通局 <http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/>
- 東京急行電鉄 <http://www.tokyu.co.jp/index.html>

避難時の心得

- **安全な避難を**
お互いに助け合って、安全な場所へ安全な経路で速やかに避難を始めましょう。
- **要配慮者の避難にご協力を**
高齢者・障害のある方・病気やけがをしている方などは早めの避難が必要です。隣近所の要配慮者の避難にご協力ください。
- **動きやすい格好、二人以上での避難**
避難するときは、動きやすい格好をし、近隣の方などで声をかけ合って避難しましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくいので、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。
- **危険な場所には近づかない**
日頃からどこが危険か、安全な場所はどこか、確認しておきましょう。外出する際には、急傾斜地（がけ）に近づかないようにしましょう。



目ざらからの備え

- **危険箇所の確認**
自宅の付近や、よく通る場所の近くなどに急傾斜地（がけ）がないか確認しておきましょう。
- **避難経路の確認**
自宅の近くの避難所の位置や、安全に通行できる避難経路を確認しましょう。確認したら地図に記入しておくといです。
- **連絡先の確認**
緊急時の家族の連絡先や、連絡方法をあらかじめ決めておきましょう。家族が離れ離れになった場合の集合場所の確認もしておきましょう。
- **非常持出品の準備**
避難時にすばやく避難できるように、必要な持出品を準備しておきましょう。非常食は賞味期限の確認もしましょう。
- **防災訓練への参加**
普段から地域の防災訓練に参加しましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所
わが家の集合場所
緊急時の家族などの連絡先